

長良橋 夜間の水防訓練

地元団員らゲート操作確認



大宮陸閘を閉める金華水防団員ら＝岐阜市大宮町で

長良川の増水に備えて、岐阜市の長良橋兩岸にある陸閘りゅうまわと呼ばれるゲートの操作訓練と施設点検が六日夜にあり、地元水防団員ら約百五十人が参加した。

陸閘は増水した川の水が市街地に流れ込むのを防ぐ設備。長良橋の兩岸には大宮陸閘と長良陸閘があり、毎年梅雨入り前後の六月に訓練と施設点検が行われて

いる。二〇一八年七月には大雨による長良川の水位上昇を受け、実際の運用としては十四年ぶりにゲートが閉じられた。

南側の大宮陸閘の訓練では、金華水防団員らが電動で開閉する長さ二十五メートル、高さ三メートル超のゲートを操作し、約三十分かけて道路をふさいだ。その後、ゲートの隙間にホースで放水

し、水が入り込まないか点検した。

金華水防団の倉地信也団長は「出水期が近いので常に危機感を持って安全を守りたい」と話した。

(沢田石昌義)